

負けないぞ！ 広野町

全会一致で可決

災害復旧費に 20億4,282万円を 追加補正

9月補正予算

9月定例会に提出された一般会計補正予算ならびに6つの特別会計補正予算は、東日本大震災および原子力災害に伴う甚大な被害から復旧をはかるため、歳入歳出それぞれ20億4282万円が追加補正されました。

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	9億6,515万円	51億4,330万円
国民健康保険特別	1,240万円	5億9,261万円
土地開発事業特別	271万円	2,282万円
公共下水道事業特別	9億8,979万円	13億8,673万円
農業集落排水事業特別	0円(決算に伴う調整)	3,068万円
介護保健特別	7,204万円	4億3,221万円
後期高齢者医療特別	71万円	3,863万円

● 主な内容 ●

<歳入>

- 町税 ▲6億2,962万円
- 国庫支出金 4億8,857万円
- 寄付金 4,366万円
- 町債 9億8,180万円

<歳出>

- 道路橋梁施設災害復旧費 3億2,508万円
- 下水道施設災害復旧費 9億8,189万円
- 学校施設原子力災害対策費 2,256万円
- 農業振興事業費 4,563万円
- 二ツ沼総合公園施設等管理運営費 ▲5,679万円

※金額は、全て万円未満を切り捨てて表示しています。



▲H23年度中の着手を見送られた小松橋整備事業

将来を見つめ 生活基盤の整備をはかれ

中津伸一議員 今回の

賀澤建設課長 小松橋

大震災と原子力発電所の事故により、小松橋と浅倉橋の橋りょう整備工事を中止せざる得ないことは理解できませんが、緊急時避難準備区域が解除されれば町の生活道路を整備するのは基本であり、町民の願いと考えますが町の見解をお尋ねします。

については実施設計料と工事費を、浅倉橋については予備設計委託料を今年度の実施はできないという判断によりそれぞれ減額補正しましたが、次年度以降に事業を再開できるように努力していきます。なお、一部用地費等についてはそのまま継続し、今年度中に用地交渉を実施いたします。